

NEWS RELEASE

安全 (Safety) ・ 健康 (Health) ・ ウェルビーイング (Well-being) を目指した
国際会議「VISION ZERO AND THE GREAT RESET」で
藤田俊弘、河田孝志 IGSAP 両理事が講演

講演内容【協調安全が はたらく人の安心、そしてウェルビーイングを向上！】

一般社団法人セーフティグローバル推進機構 (IGSAP・会長/向殿政男) の理事である藤田俊弘、河田孝志の両名が、「VISION ZERO AND THE GREAT RESET」をテーマに掲げた国際会議 (主催: ORP 国際財団) において、協調安全が安全・安心、そしてウェルビーイング (Well-being) を向上させる内容の講演を行います。【講演日時: 2021/3/18(木)、PM7:00~PM8:00 (日本時間)】

国際会議「VISION ZERO AND THE GREAT RESET」は2021年3月17日-18日の2日間行われます。2021年8月シンガポールで開催のダボス会議のメインテーマである GREAT RESET やウェルビーイングなどをテーマに、ILO や ISSA、ICOH、IOSH など国際機関のトップや安全の専門家が講演・討議を行います。

藤田俊弘は、日本発で国際標準化を推進中の協調安全、その技術的方策である ICT を活用した Safety2.0 が はたらく人のウェルビーイングを向上させる具体例や方向性を中心に、講演とラウンドテーブルディスカッションに参加します。河田孝志は、建築・土木分野における Safety2.0 の適用と展開により、はたらく人のウェルビーイング向上が図れた実例や将来展望について、講演とラウンドテーブルディスカッションに参加します。

【画像はプログラムの抜粋】



□ 視聴申込アドレス

https://fiorp.org/proximos-eventos-2/vision-zero-and-the-great-reset/?utm_source=upcplus&utm_medium=email&utm_campaign=ca_jornada_barcelona-2020

□ 参考添付資料: 案内プログラム【PDF】

□IGSAP が推進するウェルビーイング (Well-being) 向上とは・・・・・・・・・・・・・・・・

1) 協調安全の推進で、はたらく人のウェルビーイング (Well-being) を向上

2015年12月11日に「IoT時代における新しい企業安全とその可能性」をメインテーマにしたシンポジウム(主催:日経BP)が開催され、日本発の安全革命「協調安全・Safety2.0」を向殿政男・明治大学名誉教授(現IGSAP会長)が発表、はたらく人のウェルビーイングを追求するテクノロジーとマネージメントを融合する新しい活動がスタートしました。その後2016年7月21日に(一社)セーフティグローバル推進機構(IGSAP)を設立し、国際シンポジウム(年1回開催)や安全経営フォーラム(年3回開催)の開催により様々な業種の企業と交流を推進しています。

更には、経済産業省の支援により、IGSAP 提唱の考え方の国際標準化を推進し、第一弾の成果として、2020年11月にはIEC白書“Safety in the Future”発行し、世界中のはたらく人々のウェルビーイングを向上するべく、普及促進の様々な活動を展開しています。

2) 安全資格の創設と普及で、はたらく人のウェルビーイング (Well-being) を向上

はたらく人々が「安全」で「安心」な環境のもとでウェルビーイングを向上させるためには、産業現場での機械安全の知識をはじめ、安全に関する理解や能力の保有をベースにした、はたらく環境づくりが欠かせません。安全に関する知識や能力の保有を第三者認証する様々な安全資格を創設し普及拡大をはかっています。

例えば、トップ自らがリーダーシップを取れるように、企業にとって必須の『安全をマネージメントする人』の“セーフティオフィサ安全資格”があり、また機械、特にロボットが稼働する設備の『ハードとソフトを設計する人』『使う人』の“ロボットセーフティアセッサ安全資格”等があります。今後は、国際標準化の動向を踏まえ、はたらく人の更なるウェルビーイング向上を目指し、すでにアジアで普及が始まっていますが、全世界を視野に、グローバルに推進していきます。

3) 国際的 VISION ZERO 活動に参画・連携し、日本企業に対して啓発し、経営における Safety, Health, Well-being の重要性認識を向上

□Vision Zero キャンペーンについて

国連(UN)専門機関 ILO 傘下の国際社会保障協会(ISSA)が2017年に提唱した、はたらく人の安全(Safety)、健康(Health)、ウェルビーイング(Well-being)の実現を目指す活動で、既に全世界で13,000社が賛同・参画しており、自分自身で登録可能です。IGSAPは、このVision Zero キャンペーンに賛同し、国際シンポジウム等を開催しています。

Vision Zero キャンペーンの登録 ⇒ <http://visionzero.global/ja/join-us>



□Vision Zero Fund について

*“Vision Zero”は、もともと2014年にドイツで開催された第20回世界労働安全衛生会議(World Congress on Safety and Health at Work)で提唱された考え方で、人々が安全かつ健康に働く世界をめざす地球規模の予防文化活動を意味します。

*その中で Vision Zero Fund は、2015年にドイツで開催された G7 サミット、及び G20 閣僚会議で合意された、グローバルサプライチェーン、とりわけ発展途上国における労働安全衛生への対策を国家レベルで行う活動で、ILO が主導的役割を担っています。

Vision Zero Fund ハイレベルフォーラム視聴 ↓

https://www.ilo.org/global/docs/WCMS_768698/lang--en/index.htm



□Vision Zero Summit について

Global Coalition for Safety and Health は、2019年11月の第1回 Vision Zero Summit で設置、ILO, WHO, ICOH や European Commission が主導し、6つの Task Group (TG) があります。その1つが「Task Group on Vision Zero at the Enterprise Level」であり、全世界の企業に向けて Safety, Health, Wellbeing を掲げるビジョンゼロの普及・促進を推進しており、アジアを代表して日本からIGSAP(藤田理事)が参画しています。この活動の一環として、第2回 Vision Zero Summit を2022年5月に日本で開催することが要請され、その準備がJOC(Japan Organizing Committee)で進められています。

Vision Zero Summit Finland 2019 ⇒ <http://visionzero.global/vision-zero-2019-summit>

